

「あなたと家族の安全ノート」下小川支隊佐藤さんが示された改訂案に対する宇津木意見

一つのまとまった案を作って提示されたご尽力に敬意を表し、感謝しつつ、以下評価は厳正に行い率直に記す。

P1

「小川自治会避難場所等」が登場するが唐突

P2

冒頭に「地震発生時・時系列の目安」を述べ、後にその具体化されたものが出て来るという構成のように見えるが、そのつながりを読み取りにくい。「住宅の耐震化」はこの言葉だけで後にはなにも出て来ない。

「あなたと家族の安全ノート」はそれぞれの人の自助がうまくゆくようにすることが眼目だが、この案の「まずは自分の身を守る」以下では当該個人がやることと組織でやることが混じっている。読者は地震が起きた時自分はどうすればよいのということに集中して読むことができないだろう。

P3

「警戒宣言」は大規模地震対策特別措置法に基づき行われる地震予知情報だが、現時点では対象が東海地震に限られている。案で言っている「首都直下型地震や東海地震等が発生する恐れがあるばあいに出される・・・」には誤りが含まれている。(P1の冒頭では「首都直下地震(多摩直下地震－立川断層を震源とする)では・・・この地震の予知は100%不可能とされています」と書いている。)(なお批評の本筋からは外れるが、「3年以内に70%の確率で発生するといわれている首都直下型地震(多摩直下型地震－立川断層を震源とする)」と書いているが、「3年以内に70%の確率で発生するといわれている首都直下型地震」は首都圏のそれ以外の多くの断層で起きる可能性のある地震も合わせてのものである)

以上のことは誤りを正せばよいことだが、ここで丸1ページを割いて「警戒宣言」を説明するのは、コンパクトにまとめたい「あなたと家族の安全ノート」にはそぐわない。こういうことは別の場で啓発する方が良いでしょう。

P4

「警戒宣言発令後」となっているが、上記のように「警戒宣言」は東海地震に限られるので、状況設定として適さない。また書かれている項目の多くは「警戒宣言発令後」に始めたのでは間に合わない。

P3、P4と、「警戒宣言」を軸に話を展開することが適切でない。

P5

どうなる身のまわり・・・

だいたい紙面を使って述べる必要のないことが多い。交、郵、電のところに少し役立つ記述がある。交、郵の記述は「あなたと家族の安全ノート」のカバー範囲からやや外れると見て、**電のところの記述だけ、チーム案に取り込ませていただく**ことを検討する。

P6 P7

地震だ!!

ほぼチームで進めている案と同じ内容が書かれている。

「団地・マンションでの緊急行動」の中には、エレベーターのことなどチーム案には書いていないことも書かれている。だが小川自治会防災隊の地域には希少な状況なので、チーム案には入れずに行く。

P8

家の中の点検と補強

家具の転倒防止については具体的やり方が示されていて良い(ところもある)。しかしこれがすべてではなくやり方は千差万別なので、チーム案ではご自分でどうしてもできないという方は防災隊の支隊長や班長にお声をかけてください」とし、別途マニュアルも用意することとしている。チーム案は今のままとしたい。

「防災カーテン」など防災材の概念や、石油ストーブも耐震自動消火付というのは良いので、チーム案に取り入れさせていただく。

P9にかけて消火器と消火法のこと書かれているが、ここには良い情報も盛り込まれている。

しかし**「粉末は、直接火元につけず仮面をおおう」・「油鍋が燃え上がったときは、鍋を包むように放射する」**などせつかくの良い情報が小さく紛れていたり、全体のレイアウトにバランスを欠いているうらみがある。

消火のコツについては他にも種々伝えたいこともあるので、**それらは合わせて別途作る予定の活動マニュアル「自家消火器・街頭消火器による初期消火の方法」に盛り込み**、それが隊員一般の目にも触れるように持ってゆくことにしたい。チーム案は今までのとおりとする。

P9

外まわりの点検と補強

古木、石灯籠、瓦、排水穴、プロパンガス、塀や門柱、これらをどうするとよいまで書いてあることは良い。しかし取り上げているものに偏りがあったり、どうするとよいにもあまり意味の無いことが書かれているところもあったり、「ブロック塀は生垣に」「塀の高さは2m以下であること」は空疎感があり、一方ブロック塀の安全点検方法をここでこれだけ展開するのは全体のバランスを欠くと言わざるを得ないだろう。P8、P9を通じて家の耐震性ということには言及がない。(P2「備えておくこと」に「住宅の耐震化」という言葉が一言出ている。)

P10

非常用持ち出し品

「まずこれだけは」というものを挙げておりこれはこれで一つのあり方だが、こういう内容なら紙ペラ1枚投げ込み式の伝達でも足りる。座右に置く「安全ノート」にはもう少しなるほどというものを盛り込みたい。これはという品目や、循環備蓄、分散備蓄など。

P11

「災害用伝言ダイヤル171」に丸1ページを使っているが、はじめての人がこれを見ても、使えるようにならないだろう。→チーム案では、「災害用伝言ダイヤル171」とはいかなるものかを伝えて関心を持ってもらい、実際に使えるようになるためには別途マニュアルを用意するという立場をとっている。

P2に「地震発生時・時系列行動の目安」を示し、P3以降にその具体的な内容を説明するという構成のようだが、両者のつながりが悪く、すっきり頭に入って来ない。(P3以降においても、地震だ!!を先に持ってきて日頃の準備と対策を後で出す意図は分からない。P2の時系列の並べとは違っている。)

以上